

大治町  
次期計画策定に向けた基礎調査  
団体ヒアリング調査  
結果報告書

令和4年2月  
大治町

## 目 次

I	ヒアリング調査の概要.....	1
1	調査の目的.....	1
2	調査概要.....	1
3	回収結果.....	2
4	報告書の見方.....	2
II	ヒアリング調査結果.....	3

# I ヒアリング調査の概要

## I 調査の目的

「第5次大治町総合計画」の策定にあたり、町内で活動されている各団体の皆様の活動状況や町政運営に関するご意見などを把握するためのアンケート調査及びヒアリング調査を実施しました。

## 2 調査概要

調査対象者：大治町で活動されている 38 団体（下記表）

調査方法：調査票を郵送配布・回収の後、ヒアリング

調査期間：2021（令和3）年9月17日～12月3日

団体名	団体名
大治町民生委員児童委員協議会	大治町子ども・子育て会議
大治町赤十字奉仕団	白ゆり会
大治町人権擁護委員会	大治町年輪ボランティアの会
大治町保護司会	明治町自主防災(防犯)会
障害児(者)を持つ親の会	長牧明楽会
障害者福祉協会	第三東部この町みんなで守り隊
大治町老人クラブ連合会	花常地区自主防災会
大治町社会福祉協議会	深田防犯クラブ
大治町シルバー人材センター	深田自主防災会
大治町商工会	防災ボランティアおおはる
大治町農業委員会	女性消防クラブ
交通安全協会津島支部大治分会	柳原町内会助け合い隊
女性運転者友の会	南屋敷自主防災会
大治文化協会	島井青壮年会
大治町婦人会	保健推進員
大治太鼓保存会	NPO 法人元気大治まちづくり
大治町スポーツ少年団本部	大治小学校区地区コミュニティ推進協議会
大治町スポーツ推進委員会	大治西小学校区地区コミュニティ推進協議会
大治町スポーツ協会	大治南小学校区地区コミュニティ推進協議会

### 3 回収結果

種別	配布数	有効回収数	有効回収率
団体ヒアリング調査	38 件	38 件	100%

### 4 報告書の見方

◇回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。

◇複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。

◇図表中の「n (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。

## Ⅱ ヒアリング調査結果

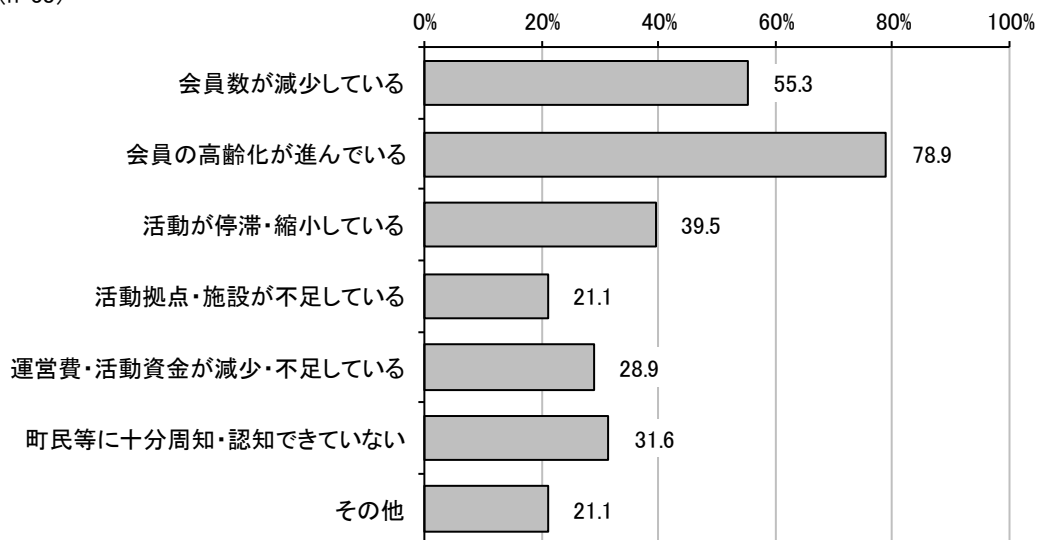
設問1 「関連する分野・団体の方のみお答えください」

日ごろの活動に関連して、現在困っていることや悩んでいることはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

日ごろの活動に関連して、現在困っていることや悩んでいることについてみると、「会員の高齢化が進んでいる」が78.9%と最も高く、次いで「会員数が減少している」が55.3%、「活動が停滞・縮小している」が39.5%となっています。

全体(n=38)



### その他内容

保護司の引き受け手が乏しい。住民へのPRができない。

コロナによりやむなく中止となっている。

2年間はコロナで活動は密になる為中止している。

防災訓練、ぼうさい祭を実施するスペースに限りがあるため、多様な訓練・活動が設定しにくく、毎年マンネリ化の傾向になってしまう。

ボランティア活動のためか、若い人の参加が少ない。

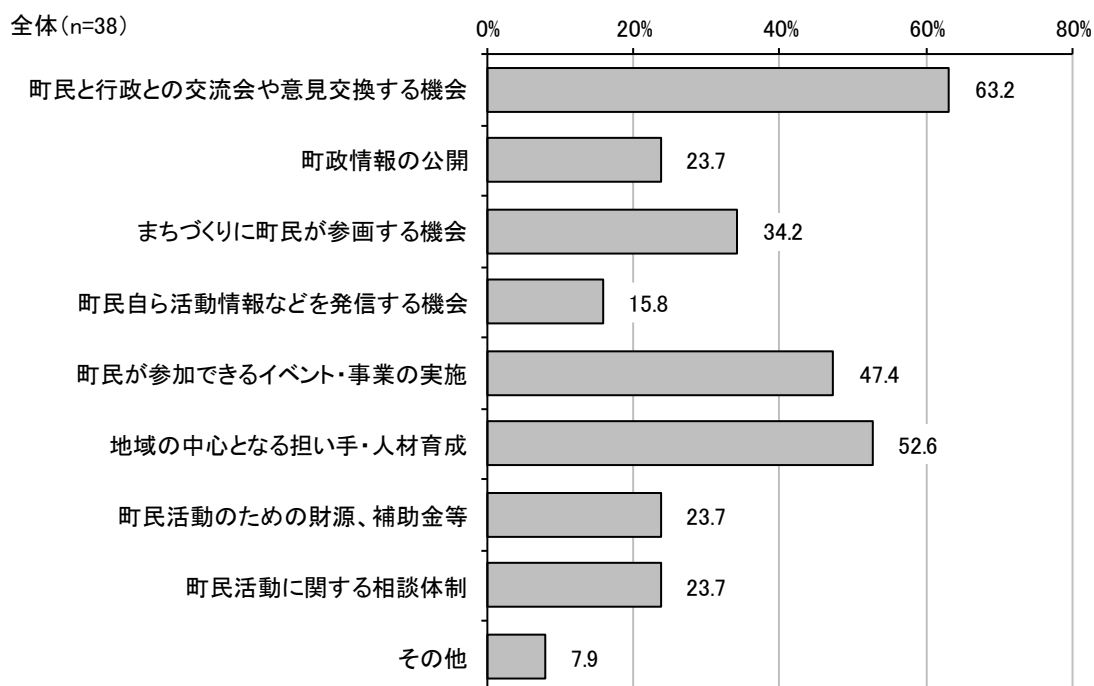
役員人事の改定(令和4年に向けて)。兼任から専任への変更。

西條地区以外のイベント情報を知りたい。

設問2 町民と行政が協働して取り組むうえで、何が必要だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

町民と行政が協働して取り組むうえで、何が必要だと思うかについてみると、「町民と行政との交流会や意見交換する機会」が63.2%と最も高く、次いで「地域の中心となる担い手・人材育成」が52.6%、「町民が参加できるイベント・事業の実施」が47.4%となっています。



その他内容
職員の専門性の必要性を感じる。
大治町(防災担当)からの指導の強化。

設問3 町や地域について、ご自身の関連する分野で、この10年間で良くなったと思うこと、改善されたと感じることをお聞かせください。(自由記述)

町や地域について、ご自身の関連する分野で、この10年間で良くなったと思うこと、改善されたと感じることについてみると、役場との連携、人権や防災、交通安全に対する意識の浸透、活動の認知度の向上、学校設備の充実、防犯活動の充実と犯罪数の低下といった意見が挙がっています。

○役場との連携

- ・大治町役場、社会福祉協議会との連携がより、スムーズに行われるようになったこと。
- ・児童、生徒を支える「はるボラ」の開始。スクールカウンセラーの充実。子ども応援本部の設置など相談の受け皿が広がったこと。
- ・役場の職員が住民に対する態度が良くなっている(親切な対応ができていているように思う)。
- ・スポーツ課とのコミュニケーションがとれるようになったこと。
- ・役場の防災危機管理課、都市整備課と連携して取り組んできたことが、目に見える形での成果が得られたこと。

○人権や防災、交通安全に対する意識の浸透

- ・「人権」に関する関心、知識等が町民の間に少なからず増えつつあること。
- ・台風や、大雨はもとより、大規模災害等の有事の際を想定した備蓄や資機材の整備、町内各地域での活躍を期待する自主防災組織の活動の推進。
- ・町内会住民の防災訓練など参加率が良く、防災・防犯の意識が向上していること。
- ・現在、大治町内7地区7自主防災会が結成されており、平成29年度から大治町自主防災組織連絡会が発足。以来、各防災会の温度差があるものの、同連絡会を通じて、意見など情報交換により、ハード面、ソフト面において充実整備、向上につながったこと。
- ・自主防災会と町内会との一体感が生まれ、町内の人たちの顔が見えるようになったこと。
- ・楽しく研修、啓発ができていていること。
- ・学童の登下校中に交通事故等によるケガがないこと。
- ・交通安全の標語を募集することで、町民の方の交通安全に対する意識が高まってきたこと。

○活動の認知度の向上

- ・はるちゃんイキイキ大作戦及び地域包括支援センターの出前講座にみられるような高齢者福祉の取り組みに進化がみられること。
- ・地域の老人会、自主防災防犯会の活動が地域コミュニティの向上につながり、高齢者の活力が高まったこと。
- ・県内でも人口増加率が高く、会員数も増加していること。
- ・地域のお祭りに参加することで、にぎやかな子どもたちの声が聞こえるようになったこと。
- ・NPO法人として、町民に認知されてきたこと。
- ・活動に対して賛同者が10年前に比べて増え理解されてきたこと。
- ・地域活動に興味をもつただけの方、協力者の増加、発掘に繋がったこと。
- ・福祉や教育分野の会議が開催され、児童生徒の健全育成等に携わる団体と意見交換・情報交換ができて有意義だったこと。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・メンバーと学童の父兄とが顔見知りになり、他の事に協力体制も可能になったこと。「理解、思いやり」。</li></ul> |
|---|

#### ○学校設備の充実

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・学校にエアコン、タブレットと手厚くなっていること。</li></ul>                   |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・町内の保育園、幼稚園、認定こども園など就学前保育が10年前に比べて充実したこと。</li></ul>    |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・小学校のトイレなど洋式化、1人1台タブレット化など施設や教材の整備が進んだと思います。</li></ul> |

#### ○防犯活動の充実と犯罪数の低下

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・団体結成後、大治町では児童に関わる事件は今まで起きていない。子ども見守り、あいさつ声かけなどの活動を通じ、犯罪のない安心・安全な明るいまちづくりの推進に寄与できていること。</li></ul>  |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・自治会との連携(自治会4役は本会の役員に所属、組長は本会行事に参加)や毎年の行事の積み重ねにより、地域住民の防災意識や防犯意識が少しずつ高まってきたと感じること。</li></ul>   |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・犯罪件数が減少傾向にあること。</li></ul>   |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・防犯パトロールすることに依って、犯罪が減少してきていること。</li><li>・のぼり旗を掲示することに依って、信頼と安心につながっている雰囲気を感じる事。</li><li>・各銀行、平安会館前に掲示させていただいて住民とつながりが特に強くなり、中京銀行内に注意の喚起につながったこと。</li></ul> |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・町の補助がでるため、人感センサーをつける家庭が増えてきたこと。カーブミラーの設置も除々に増え安心度がましてきたこと。</li></ul>  |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・各字地域で防犯ボランティアが多くなっている、少しずつであるが地域での交流も増えてきていること。</li></ul>   |

#### ○その他

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・変化なし【4団体】</li></ul>  |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・会員が自主的に事業運営に参加するようになったこと。</li></ul>  |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・路地の歩行者通行区分路面のカラー舗装が進み、高齢者でも安心して歩ける箇所が増えてきたこと。</li></ul>  |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・各団体の技術の向上。</li></ul>   |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・道路が整備され、はしり易くなったこと。</li></ul>  |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・側溝の整備が早く満足している。</li></ul>  |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・各施設を利用する際、トイレが洋式になるなど少しでもバリアフリー化が進んだこと。</li></ul>  |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・大治町は犯罪者が海部保護区の中でも一番多い自治体となっている。特に若者(未成年)の数が多くなっていること。</li></ul>  |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・大治町主催の訓練、講習は勉強になるものの、役員の兼任(総代・副総代)により、実際は物理的に困難。現状は一年間総代を勤めればお役御免といった感じ。これを解消するため役員人事の改定が急務と考えている。</li></ul> |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・行政の責任者は、団体が行う行事に積極的に出席してほしい。ボランティアは大変なので。</li></ul>  |



設問 4 町や地域について、ご自身の関連する分野で、課題である、不安であると感じること、改善すべきだと思うことをお聞かせください。(自由記述)

町や地域について、ご自身の関連する分野で、課題である、不安であると感じること、改善すべきだと思うことについてみると、団体同士の連携、メンバーの減少や高齢化、担い手の不足、災害時要配慮者への支援、自然の減少、役場の協力が必要、生活環境の向上、公園や道路の整備・メンテナンス、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う活動の中断・延期といった意見が挙がっています。

○団体同士の連携

- ・民生委員と役場、社会福祉協議会の連携はとれていると思われるが、「第4次大治町総合計画」42ページ「協働のまちづくり」における各種団体とのつながりはうすいと思われるので、強化すべきだと思う。「地域に密着した各種団体等を、住民の連携による地域の見守り体制の構築」について、具体的な方向性を示していただきたい。
- ・情報収集、発信力の弱さ。
- ・ボランティア団体(個人)との関係性の構築。
- ・行政との連携が強化されていない。町民ニーズの把握がされていない。

○メンバーの減少や高齢化、担い手の不足

- ・メンバーが高齢化している事とご尽力くださるメンバーの顔ぶれが変わらない。少しでも、我々より若い世代の方々に入っていただき、今後の活動事業において活性化を図って行きたいと思っている。
- ・委員の数が少ない。現在は4人だが、あと1人の増員が望ましい。
- ・団体の存続危機で毎年10人程度脱会している。
- ・個人情報関係で会員募集が行い難い。
- ・入会のメリットが少ない。
- ・会員の高齢化が著しい。
- ・体の衰えや体力低下が著しくできない事が増えてきた(改善点:庁舎正面のスロープの改修。車イスでは登りづらい)。
- ・人口増加により、事業者数も増えている一方、会員の高齢化、コロナ禍により廃業も目立つ。
- ・農業者の高齢化、担い手不足。
- ・都市化による農業のかたみのせまき(騒音等による苦情)。
- ・交通安全指導員の増員。
- ・高齢化による団体の解散。
- ・ここ数年、加入する子どもの数が減った事が一番の不安材料。単独で活動できない状態になっている。勧誘活動をしてはみるものの、なかなか成果が出ないのが現状。また、専用施設がなく活動の幅が広がらないのが悩み。
- ・資格がある者が指導する訳ではないので、それぞれが「思い」だけで指導すると子どもが迷う事がないか心配。
- ・継続的な活動の秘訣として、「やれる人が やれる日に やれる時間だけ 無理なく」を合い言葉に自発的な活動に努めているが、会員の高齢化が進み活動できる人が減少している。会員の募集を行うも、確保ができない。このような状況から活動の空白地域が生じている。

- ・会の活動は、補助金を受けずに会員相互で知恵を出し合い、会員だけで運営しており、会費をとらず資金がない。資材(ベスト・帽子等)の調達は会員からの寄付でまかなったが、年数が経過し、劣化が見られるが、整備することができない。
- ・高齢まで働く人が多い(定年の延長等で)ためか、本会に入会する時の年齢も高くなり、会員全体でもますます高齢化が進んでいる。
- ・子ども会が減ってきているので、子ども達と地域の大人達との交流もなくなってきている。昔やっていた町民体育祭などのイベントがあるといいと思う。
- ・昔からの住民は老夫婦が多く、今後こうした世帯が多くなり、屋敷の仕事(総代・組長)等々は困難。一方新しく転入された若い夫婦には協力性が乏しく、現状は、役員にその分負担がかかっている。
- ・活動に対して無関心層が多いのでPRに重点をおきたい。
- ・まだまだ地域活動に理解していただけない方も多く、また、現在継続している役員がやめた時、コミュニティは組織して継続していけるのか不安である。

#### ○災害時要配慮者への支援

- ・最近、全国で、大変災害が多く、水害や山くずれ等と大きな災害が起きています。愛知県(豊橋)方面でも災害がありましたが、もし大治町に同じ様な災害が起きた場合、障がいを持っている子ども達の避難の仕方等々を会としても勉強すべきだと思っています。
- ・足が不自由な方などの災害時の避難場所までの避難方法。

#### ○自然の減少

- ・自然や農地の減少。身近な畑や田んぼが宅地化され、子どもの自然にふれあう機会が減っています。また災害時の保水対策も不安です。

#### ○役場の協力が必要

- ・児童、生徒達に交通事故を起こさせないために自転車の通行ルールを正しく理解してもらいたい。そのためには、学校で交通安全教室を開催してもらいたい。
- ・利用施設の拡充に不安(大治町において拡大は可能?)。
- ・8年前に防災会を立ち上げて基盤を作った。今は二代目に事業をまかせている。防犯クラブは老人会で結成。活動分野は別々。日頃の安全を見守る、安心の町づくりとして健康をかねてボランティアパトロールしている。防犯活動の「資金補助金」を今後考えてほしい。
- ・スポーツセンター内のプールを多目的機能を持った改修をしてほしい。
- ・行政もお任せでなく、こちらから相談をした時だけでなく、積極的に協力、相談にのっていただきたい。
- ・ゴミの出し方が非常に悪い。他の市町村のゴミ袋で出したり、分別せず可燃ゴミ、ペットボトル、缶など入れて出している。当然収集業者はその袋は回収しないで残しておくので、集積場がよごれ、夏場は悪臭も出て不衛生である。役場の職員も各地を回って残っているゴミを回収しているようだが、回数を増やして欲しい。
- ・お年寄りが住んでおり、庭木などが道路に大きくはみ出している植木剪定は、私どもが対応していたが、亡くなられて相続放棄状態に対して、これから安全対策及び環境面で町が継続していただけるか。

- ・行政と一体となった活動が必要。

#### ○生活環境の向上

- ・駐車場は全体に暗い所が多い。新しい住宅が増えているが街路灯が少なく暗い。
- ・町内会や近隣住民の高齢化及びひとり暮らし住宅が増え防災、防犯が心配。防犯パトロールや広報チラシの作製。防災訓練を重ね、頭だけではなく、行動が出来るようにしたい。
- ・水害対策及び環境対策(夏場の悪臭)に向けて川に蓋をしていただきたい。
- ・空家への対応基準を明確にして頂きたい。
- ・有事の際、多目的集会所を「一時避難所」として開設することになっているが、同集会所は水害時には安全に避難所として機能するか不安である。
- ・地元(大治)に就労先が少ないこと、また、グループホームも少ないこと。
- ・防災(防犯含む)対策上、「自分の身は、自分で守る」という「自助」と「自分のまちは、自分達で守る」という「共助」の精神が基本であり、最も大切です。地域の防災力、防災意識の更なる高みを旨として、今後も引続き努力していきたい。※災害時、現自主防災会組織力で、どこまで出来るのかという一抹の不安がある。
- ・年々の高齢者増によりひきこもり人口も増加すると思われる。各地域の氏神さま等の空地を活用した「おしゃべりベンチ作戦」いこいの場づくり。

#### ○公園や道路の整備・メンテナンス

- ・交通安全面からの要望とすれば、道路の白線引きや死角大の地点でのミラーの設置や取替え等に要望があった場合は、迅速な対応を願いたい(現在も早急な手当を頂いていると思う)。
- ・通学路の整備。安全で快適な交通路通学路とは言いがたく、整備の必要性を感じる。
- ・公園の整備。子どもたちが外で楽しく遊べる公園は、大切な教育ツールだと思います。防災もふくめて考えて欲しいものです。

#### ○新型コロナウイルス感染症拡大に伴う活動の中断・延期

- ・コロナ禍な中、いつ収束するかが心配事である。会議等が開催できないため。そのための問題を解決する努力を頂きたい。
- ・当面の大きな課題はコロナ感染をしない、させないを前提に、新しい活動方式の模索と活動方式の具現化にある。具現化には各層に合意を求める対話が必要。複数人の対面困難で多目的に利用可能なオンライン(Wi-Fi)環境づくりが望まれる。
- ・今はコロナで活動をやっておりませんが少し落ちついてから仲間と一緒に活動したい。
- ・コロナ禍にあって活動が制限されていること。
- ・コロナ禍のため事業の中止が相次ぎ、経験値が薄れることが心配。
- ・コロナ禍が続く会員との交流が出来ない現状で会員相互のつながり、防災意識のうすれが懸念。

#### ○その他

- ・消費税のインボイス制度が開始されても、個人事業者である会員が対応できない。
- ・活動がマンネリ化・停滞していること。
- ・練習時、音が騒がしいと声が出て、思う様に練習できない。小中学校の授業時間等の影響により、

クラブ・部活の活動自体がきびしくなっている。“神楽太鼓”が文化財に登録されたが、年々、各字においての屋形神楽の存続自体もきびしくなっている。→大治町の持ち物ではなく、各字の持ち物となっている為、メンテナンスの問題も大きい。

- 町づくりビジョンが不明確。どんな町づくりをしていくか町民にわかりやすくしてほしい。

設問5 今後、力を入れていきたいこと、取り組んでいきたいことをお聞かせください。(自由記述)

今後、力を入れていきたいこと、取り組んでいきたいことについてみると、住民への声かけ、活動の継続・充実、行政との連携、活動の周知、他団体との連携、指導者の育成、転入してきた住民への活動参加の働きかけといった意見が挙がっています。

○住民への声かけ

・朝の登校見守りの時、保護者にも声かけをしていく。
・若い世代の団体加入が必要である。
・春、秋のお祭り等地域の行事に積極的に参加し、地域住民とかかわっていきたい。
・町民全体が参加しやすい「全国ラジオ体操」の推奨。

○活動の継続・充実

・各種講習会(救急法・幼児安全法・健康生活支援講習)を開催し、また、読み聞かせや「きけんはっけん」「いえまですごろく」で防災教育をも主軸に活動を継続する。
・幼児、児童、生徒対象の定期的な人権教室の開催。
・ブランドイメージの向上に心掛け、会員自己(会員全員)が事業・作業に誇りがもてるようにしたい。
・ほぼ全域が市街化区域である大治町の特色を生かし、町ならではの農業(しそ、ハウレンソウ等)の推進を目指し、農業者間のつながりを深めたい。
・防災倉庫の新規設置と防災資機材の補充・充実化を図ること。
・子どもが参加しやすい訓練内容・活動の計画・実施(将来の防災・防犯活動の担い手を育成するため)。
・街路灯、防犯カメラの充実化。
・地域の「防災安全安心まちづくり」建設に向けて、引続き「自分達のまちは自分達で守る」をモットーに、機会を設けて、地域防災力の維持向上に役立つ提言(案)をしていきたい。
・災害が発生した場合、会員の高齢化を鑑み、復旧支援は無理かと思われるが、できることは何か、避難所での援助、協力はできる。何ができるか皆で考えていく。
・今度、皆様と集まることができれば、この後の活動のことを話していく。
・老夫婦、独居家族の安否の確認、自主防災会の計画を着実に実行すること。
・今迄通り、個々人でやれること、やれる日に活動し、学童の安全のみならず、自身の健康を維持することも念頭において、活動をする気持ちが大切。
・ひとり暮らし高齢者への日常的見守りにおいて、本人の気持ちも尊重しつつ、外とのかかわりがもてるようアドバイスしていきます。
・指導者への指導が必要である。生涯にわたって、スポーツを楽しんでもらい、スポーツぎらいの人間をつくらないためにも、この入口の部分がとても大切だと考えている。
・日ごろから訓練を重ね、減災に努めること。
・地道に町内で防犯パトロール体制を作っていきたい。
・年間スケジュールを総代に報告計画書を提出している。(町内から老人会)への補助金を若干いただいている関係。
・奉仕活動(ちびっこ広場の整備、草取り)年5回を中心にした活動。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の終息の見通しが立ちにくい状態が続いて行く中で、どの様に活動が続けて行くか、いつ頃フル活動へと進めるか、判断が難しい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材育成に取り組んでいきたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・このまま会員が減少すると、会の継続が難しくなる。後継者の確保人材の育成に務める。</li> </ul>

#### ○行政との連携

<ul style="list-style-type: none"> <li>・大治町の住民から犯罪者が減少することを望む。名古屋市へのベッタタウンのため、解決は非常に難しい課題と思う。今後、現在の保護司は年齢が高い者が多く、今後も新しい保護司の選出が必要で、行政全体で努力が必要となると考えられる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・年に1度程度でよいので行政との話し合いの場所を作ってほしい。</li> <li>・地元でくらす為には、行政支援をしっかりと確立してもらいたい、また、ついの住処(ホーム)を1つでも多く作ってもらいたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に各地域に出向き、求められているサービスや困っている事などを調査し、行政や関連機関、ボランティア等と連携や協働を図り、住み良いまちづくりの一端を担っていく。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談件数も増え、子どもたちをとり巻く環境は複雑化している。不登校も増え、もっと気軽に相談できる場所や施設が必要かと思われる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・役場の防災危機管理課より発信する、重要な情報が意外と伝わっていない。私共の活動の中で知恵を出して、一人でも多くの町内の人たちに伝える役割を果たしていきたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ施設の拡大と効果的な利用。</li> </ul>

#### ○活動の周知

<ul style="list-style-type: none"> <li>・魅力ある入会メリットのある活動の実施。SNSを活用して若年層の取り込み、趣味趣向を重視した活動展開。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・設問3の高齢者福祉の取り組みに多くの会員が参加するよう啓発、広報に注力する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・商工業者に役立つ支援を模索しながら、商工会活動を周知していきたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人でも多く婦人会員になってほしいので良いPRに努めたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・後世に、伝統を守り続けていける様にしていきたい。昔からの住民の方々はもちろんだが、新しい住民の方々にも、町に伝わる芸能を知って頂き、参加して頂けるような取組にも挑戦していきたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・年3回程、スーパーなどに啓発を行っているので、他の行事などにも参加することがあれば取り組んでいきたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ活動の必要性、楽しさを地域の方にもっと発信していきたい。</li> </ul>

#### ○他団体との連携

<ul style="list-style-type: none"> <li>・街頭啓発では、警察官がいてくださるだけで町民の意識も違ってくるので、今後交通安全教室を開催する時は警察官と一緒にできれば良い。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・犯罪が起きた場所、程度等を知ることにより、そこを重点的に巡回することが大事かと思う。警察、役場、ボランティアで情報を共用することはできないか。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが安心して通学できるよう、学校、行政や警察との連携を図る。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣町内会との連携が必要である。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会や他団体(老人会など)との連携強化。</li> </ul>

・事業がマンネリ化にならないように他の団体と交流し、事業を行うことに取り組みたい。例えば、消防団を応援するコミュニティ活動、子供会の減少を止めるコミュニティ活動、これらの組織はコミュニティの基盤（個）の繋がりがコミュニティの輪と思う。

・他のスポーツ団体との交流、すみ分けが必要。

#### ○指導者の育成

・町一帯での交通安全指導員が増員できれば交通安全のみならず、防災、防犯などにも、役立てるのではないか。

・技術指導者の拡充。

#### ○転入してきた住民への活動参加の働きかけ

・新規住民と元々の住民とが交流し触れ合える場づくり。

設問6 貴団体の立場から、大治町のまちづくりへのご意見・ご提案があればお聞かせください。

(自由記述)

大治町のまちづくりへの意見・提案についてみると、団体活動に関すること（活動の周知、イベントの開催、各団体の知識・経験の出前講座）、教育に関すること（不登校児童・生徒への対応）、防犯に関すること（活動の充実）、防災に関すること（防災行政無線の改善、避難路の確保、経験談の集約）、福祉・健康に関すること（社会的弱者の生活支援、ウォーキングできる環境の向上）、生活基盤に関すること（新型コロナウイルス感染症対策としての情報基盤整備、道路環境の向上）、交通安全に関すること（見守り体制、交通安全設備の充実）、行政との連携（団体との対話、団体同士をつなぐ）、特色あるまちづくり（地域資源の発掘）といった意見が挙がっています。

○団体活動に関すること

・祭等イベントで各種団体が一同に団体の活動を紹介できる大きな事業が開催できれば、町民の皆さんとも一丸に大きな「和・輪」になれば、素晴らしいと思います。勝手な申し上げですがよろしく願いいたします。

・団体の良さを伝える手段を考えていきたい。

・今回のコロナウイルス騒動で感じたことは、危機管理について、残念ながら大変希薄に感じた。リーダーの判断で自粛と活動継続の両極端に分かれた。他のボランティア活動をしているグループも大勢で活動終了後喫茶店に集まり、大声で談笑している場面に遭遇した。大治町で数多くのボランティアグループに対して、一元化された強い強制力を伴った指示命令できる体制を整えていただきたい。

・各分団がなくなってきているので、日頃などの活動をアピールできたらと思っている。

・今コロナ禍でこの3年間何の活動もしていない。引き継ぎもしていない。ましてや私自身今まで何の活動もしていないので良くわからない。1年ずつ変わる総代では名前だけの代表なのでこんなことでは済まない。

・総代の役割と責任をもっと明確にしていきたい。

・総代は3回位設けて、地域の状況を把握してもらいたい。4月、9月（中間が大事）、3月だと思う。

・自主防災、自主防犯団体が一つでも多く設立されることを望みます。大規模ではなく、なるべく小規模の方が、まとまりが良いと思います。“自分の地域は地域で守る”。

○教育に関すること

・小中学校の不登校児童生徒に対する取り組みについて、相談窓口、スクールカウンセラーなど充実していると思われるのに、なぜ、不登校児童生徒が減少しないのか。保護者への対応方法を考えていくべき。

○防犯に関すること

・犯罪のないまちづくりの推進に努力すべき。

・犯罪に地域住民が対応することが非常に難しいことだと思うが、何か対応すべき。

・第4次計画「あぶないと思うことなく平穩に暮らすことができるまちづくり」のような、安全につ



いて推進していただきたい。

- ・子どもたちが安心・安全に登下校できるような、通学路の確保や整備をお願いしたい（信号機・防犯カメラの設置、横断歩道の確保等）。

#### ○防災に関すること

- ・大治町の「防災行政無線」による情報が、確実に住民に届くようにしていただきたい。
- ・暴風、大雨の時は、ほとんど放送が聞こえない。
- ・「警戒レベル3」とか「指定避難所の開設」についての情報は放送されていないようである。「町メールサービス」では配信されていますが、メールサービスに登録している住民は多くないと思う。
- ・西条バス停近くの駐輪場南にあるマンション回りに置いてある廃棄家電が道路にはみ出して、危険である。また、この道路は、明治町尼ヶ須賀地区の住民の指定避難場所（西公民館）への避難経路となっている。強風や水が溢れた場合、道路に散乱して危険を感じる。大治町からの強い指導・改善を望む。

- ・大治町のまちづくりには、安全・安心が最優先課題で、万人が認める重大事項である。
- ・毎年、どこかで想定外の広域かつ激甚災害が発生。災害が起こるたび「行政力には限界がある」という避けられない事実があるが、「備えあればうれいなし」であり、少しは減災のため、大治町内自主防災組織の結成が平成 27 年度以来、増強育成されてない。新規結成は、地域差により異なるが、私たちとして、総代等の既設団体からのご意見、苦労話等により知識を高め、前進できないか。そういう機会、場があってもいいのではないかと思う。今後も、微力ですが町政発展に努力していきたい。

- ・ゲートボール場の地下に貯水池を作り、洪水を防ぐ(中島地区)。

#### ○福祉・健康に関すること

- ・障がいを持つ子どもたちが地元で安心して暮らせること。働く場所や生活する場所（ホーム）を行政の支援を含めて、進めてほしいと強く希望する。
- ・社会的弱者(生活困窮者、外国人、老人子ども、障害者等)が生活しやすくなる場づくりをする(例：子ども食堂、フードドライブ等)。

#### ○生活基盤に関すること

- ・公共の場にオンライン環境づくり(Wi-Fi 環境)を求める。多目的利用が可能であり、しばらく続くコロナウイルス感染拡大防止にも寄与できると思う。
- ・公園の整備、給水設備、トイレ設備等、ウォーキングのルート整備、歩道が少ない。
- ・高齢者等の社会的弱者が利用しやすい店舗ができるような用途地域に変更してもらいたい(例：東条～西今宿線、美和～大治線、名古屋～津島バイパス)。
- ・ゴミの問題。担当、地区総代が週 1 日巡回して清掃すること。

#### ○交通安全に関すること

- ・消えかかった横断歩道の白線の修復を早急にしてほしい。
- ・通学時間帯や下校時に通学路に警察官が立ったり、パトカーの巡視をしたりして、児童の歩行安全

を確保してほしい。
・通学路の「グリーンライン」の表示を拡充していただきたい。車の通行量が多い道路には、ぜひお願いしたい。

#### ○行政との連携

・幼児から高齢者、障がい者やボランティア活動をされている方々など、各分野での地域福祉の推進を図るため、行政の協力なくては実現できない。今後ともご理解とご協力をお願いしたい。
・今まで以上に問題が山積の時代、職員、議会議員、良くパイプを通し、無駄のない「まち」作りを進めてほしい。
・幼児から小、中学生、高齢者の方などにいろいろな団体の方が持っている知識を利用し、ボランティア出前講座の企画があると良い。
・問5（今後、力を入れていきたいこと、取り組んでいきたいこと）が叶う予算を町政に望む。 ・コミュニティは共存共同社会である。活動に柔軟な理解をしていただくことが寛容と思う。
・各種団体がたくさんあると思う。その団体がそれぞれ活動し、繋がりがなく点々としていると感じる。その点を繋げ、面となるともっとより良い町づくりができるのではないか？つなげる「のり」の役割が行政にあるのではと思う。
・自分の住んでいる町を良くしたいと思っている人はたくさんいる。もっと、その方たちの活動の場を広げてもらいたい。行政が受け身な印象を受けている。
・私たちが協力できることがあれば、お声をかけていただければ協力していきたい。
・クラブと町の連絡会(ボランティア)会議はこれから開けると思うので設けてほしい。
・大治町としての防犯活動の一年間のビジョンを今後作って各団体の責任者位までには送ってほしい。
・情報不足の感がある。コロナ感染の年代別開示等もっと町自体がリーダーシップを取るべき。

#### ○特色あるまちづくり

・都市化が進む中、市街化区域ならではの特色を出せる町を目指したい。
・町の文化、昔からの伝統を次世代(転入者含む)へ継いでいきたい(例：祭り、特産品等)。
・町内には、いろんな才能、技術を持つ方が多くおられる。行政と共に宝の発掘を。そして、発表、展示などを行い、大治町の文化の輪が広がると良いと思う。
・人口増について、他地域は人口減に苦慮されているが、幸い大治町は地理的に恵まれており、行政努力が欠如しているのではないかと思う。
・町・行政の町づくりの方針内容を熟知していないので何とも言えないが、可能な限り、大治町独自の行事や名産、名物を育て上げ、外に積極的に発信する。
・現在も行っているが、道路整備や町内の風景美化にも着目をしていただきたい。
・国県等アピール可能な立場の人たちに、大治町にはこんな伝統文化があると広くアピールしていただきたい。公民館講座としての“太鼓教室”をもっと広く多くの人たちに知っていただきたい。保存会としての発表の場はあるが、“太鼓教室”としての発表の場はない。太鼓教室としてのゴールが作れるようになると、もっと多くの方たちに、神楽太鼓を楽しんでもらえる。
・スポーツイベントの開催を。

- ・明眼院の文化展示施設を設立してほしい。
- ・町づくりをPDCAサイクルで確実に実行してほしい。
- ・産業環境課を環境課と産業振興課とに区分独立して、専門的に役割を実行してほしい。

大治町  
次期計画策定に向けた基礎調査  
団体ヒアリング調査  
結果報告書

発行:大治町 企画課  
TEL:052-444-2711(代)  
FAX:052-443-4468

発行年月:令和4年2月